

令和4年5月17日

学校法人仁多学園

理事長 勝田 康 則 様

学校法人仁多学園監事

川本健二

令和3年度学校法人仁多学園決算監査報告書

学校法人仁多学園寄附行為第15条第1項第4号の規定により、令和3年度学校法人仁多学園の業務並びに財産の状況について、監査を実施したので、その結果について下記のとおり報告します。

記

監査の概要

- (1) 監査の期日 令和4年5月17日(火)
- (2) 監査の場所 島根リハビリテーション学院
- (3) 監査の手続

本監査は理事長から提出された令和3年度学校法人仁多学園資金収支計算書をはじめとする財務諸表並びに事業報告書等に表示された計数が、財務内容及び経営の成果を的確に把握処理されているか、また、諸法規、寄附行為に照らし、合法的かつ適正に業務が遂行されているかを確認するため、会計諸帳票、預金通帳等、証拠書類との照合等を行い、実施状況を検証した。

監査の結果

- (1) 決算諸表について

監査に付された決算諸表は、事業の財務状況及び経営の成績が適正に表示されており、その計数は正確に処理されていると認めた。

- (2) 経営の状況について

◎ 入学生の動向

令和3年度の入学者数は理学療法学科38名、作業療法学科24名、計62名で入学定員(60名)を上回った。在籍

学生数は236名となり前年度と比較して14名増加した。

◎ 収支の状況

事業活動収入合計は3億2,428万1千円（対前年比99.5%）、事業活動支出合計は2億7,928万7千円（同94.2%）で、基本金繰入前当年度収支差額は4,499万4千円（前年度2,965万3千円）であった。

基本金組入額は1号基本金で2,498万円である。なお、基本金取崩額は192万5千円で、内訳は1号基本金92万5千円（校用車の更新に伴う既存車両の廃棄）及び4号基本金100万円である。

（３） 個別事項

- ① 預金については、取引金融機関の令和4年3月31日現在の残高証明書等により確認した。
- ② 学院の教育活動等の実施状況は令和3年度重点目標達成状況報告書等により確認した。

（４） 総 括

学生募集については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、進学ガイダンス等が中止となるなど、高校生との接触機会が減少する中においても、駅前出張相談会の開催やテレビCMの放映などに積極的に取り組まれた結果、令和4年度の入学生は理学療法学科31名、作業療法学科33名、計64名と4年連続で入学定員60名を充足した。これまでの学生募集の取組みとその成果に対し敬意を表し、継続した取組みを期待するとともに、学院の一層の魅力向上に努められたい。

一方で、中途退学者は前年度と同じ14名（5.9%）で、比較的多い状況が続いている。学生支援の一層の充実など、中途退学者の減少に努められたい。

また、令和3年度の国家試験合格率については、理学療法学科95.2%、作業療法学科91.7%で、いずれも全国平均を上回った。両学科ともに合格率100%を目指し、引き続き教員各位の熱意ある指導と努力を期待したい。

なお、作業療法学科専任教員の欠員1名については、できるだけ早期に補充されたい。

以上、監査報告とする。